第７１３回

ＩＢＣ番組審議会　議事録

－議　題－

ＩＢＣテレビ

「いわて見聞録　灯　～過疎を照らす希望～」

２０２６年9月１５日（火）

㈱ Ｉ Ｂ Ｃ 岩 手 放 送

第７１３回ＩＢＣ番組審議会

１．開催日時　　２０２６年9月１５日（火）午前１１時

２．開催場所　　ＩＢＣ岩手放送　Dホール

３．委員の出席　　委員総数　　９名
出席委員　　９名
出席委員の氏名（リポート含む）

委 員 長	田代　高章
副委員長	熊谷　志衣子
委　　員	小原　　透
	柴田　千春
	龍澤　尚孝
	髙橋　　司
	繁田　奈菜子
	楢村　大輔
	郷右近　勤（リポート）

会社側出席者

眞下　卓也	代表取締役社長
八木　宏樹	常務取締役編成局長
兼平　宗彦	取締役メディアセンター長
作山　真一	メディアセンター次長
江幡平三郎	報道制作部ディレクター

事務局

藤原　崇史	番組審議会事務局長
平澤　泰志	番組審議会事務局員

４．議題

ＩＢＣテレビ

「いわて見聞録　灯　～過疎を照らす希望～」

８月２９日　午後４時～午後４時５４分放送

５．議事の概要

＜委員の主な発言＞

○　台風１０号の被害から１０年という節目に、地域産業の中核を担う岩泉ホールディングスの設立から被災の苦難、そこからわずか１年で再開を果たした歩みを丁寧に描いており、地域の歴史や産業を立体的に知ることができる非常に意義深い番組だった。貴重な過去の映像や写真を効果的に取り入れた構成も印象的。

○　地域ブランドに成長した軌跡や、災害を乗り越えた過程は、多くの自治体やローカル企業にとって大きな勇気やヒントを与えると感じた。

○　社員の雇用を守り、再建に奮闘した山下社長の生い立ちや経営者としての考え方、社員や地域を守ろうとする強い思いがよく伝わってきた。企業の復興だけでなく、地域に根を張る企業の役割や、地域ブランドを育てていく姿を描いた点も意義深い。

○　酪農家を継いだ青年の母親の若いころのアーカイブ映像が出ていたが、その時のコメントが２１歳とは思えないような秀逸なコメントで、過疎を照らす希望というテーマにマッチしていた。

○　ＩＢＣラジオで放送された応援メッセージを改めて聞く場面があったが、当時、山下社長が車の中で副社長と二人でそのメッセージを聞き涙を流したという話は、当時の苦境と周囲から寄せられた支援への思いが強く伝わった。

○　解雇者を一人も出さなかった一方、３人が自主退職した事実を説明した場面のあと、しばらく無音の場面があった。少し不自然な感じがしたが、演出上の意図について確認したい。

○　小本川の位置関係について、地図上での漢字表示で明記した方が視聴者にわかりやすいのではないか。また、インタビューの字幕が少なく、聞き取りにくい箇所があった。